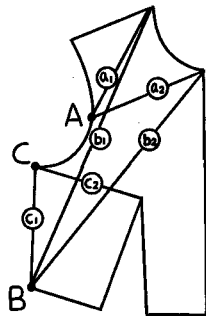


**目的** タイトフィットした衣服原型を作成するためには、適切な人台を用いて立体裁断を行うのが最も有効である。しかし、立体裁断にはある程度の熟練を要するため、初心者を対象とした衣服原型作成教育には一般的に平面製図法が採用されている。従来の平面製図法では、いづれの方法を採用しても、どのような体型に対してもぴったりと適合する原型を作成することは困難である。そこで、広範囲の体型のいづれにもよくフィットする婦人服胸部原型の製図法を開発することを目的とした。

**方法** 基本ダーツとしては、前身頃・後身頃ともウエストダーツとした。このとき、従来の製図法ではいづれもバストライン（袖下線）を一本の水平線として固定している。このためにセンターフロントでは正確にバストライン位置を決めていてもウエストダーツをたためば、袖下点〔C点〕などはダーツ方向に引、張られ、ダーツよりも胸側の各部ではダーツ角度に応じたずれが発生する。このずれを防ぎ、身体各部位とパターンとの対応を正しくとるために、袖ぐり〔A, C点〕及び腋部〔B点〕の設定には図に示す三角測量的ななめ計測線を取り入れた製図法を開発した。

**結果** 図中の①～③のななめ計測値を導入することにより、A～C点の位置が適切に定まり、種々の体型のいづれにもよく適合する原型を容易に製図することができるようになった。



フィット性向上のために  
取り入れたななめ線